

ひょうたんいけ

桜台小 学校だより
令和4年2月10日
第51号



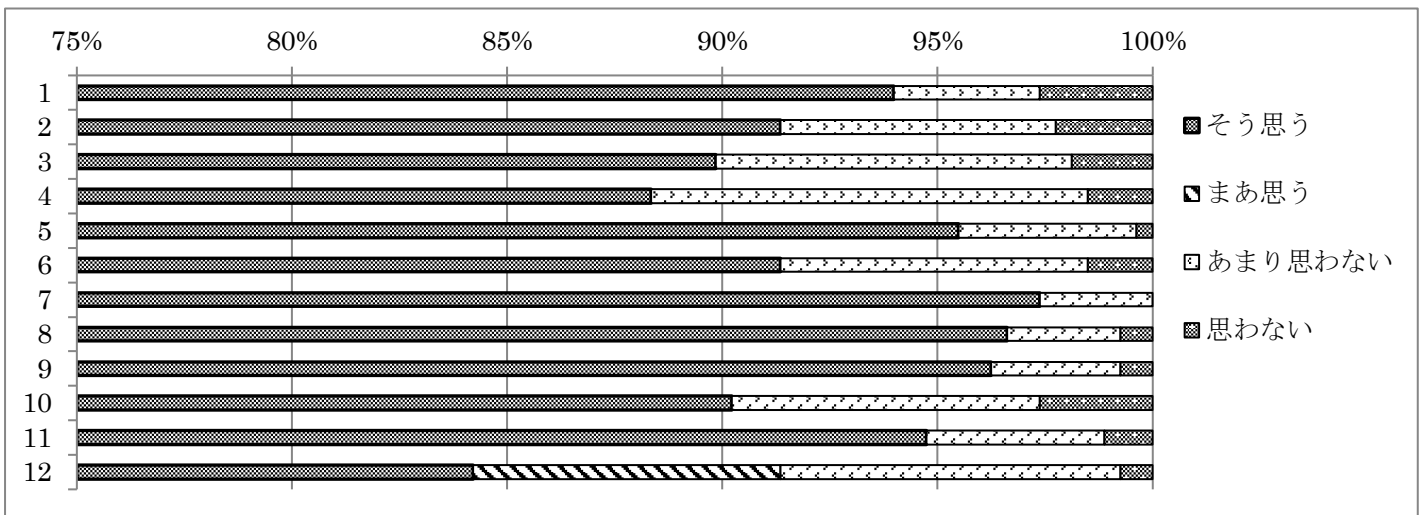
課題や方向性を明らかにし、改善をしたいと考え「桜台小学校教育活動に関するアンケート」を毎年実施しています。今年度は、スマートフォンやパソコンが普及してきていることもあり、CBT化による情報端末でのアンケートを実施しました。ご理解・ご協力ありがとうございました。

アンケートの結果と考察を全教職員で共有しました。来年度（令和4年度）に向けて、本校のさらなる教育活動の改善に努めていきたいと思ひます。

【項目】

- 1 学校は楽しいか
- 2 授業はわかるか
- 3 意見を言ったり、意見を聞いたりしているか
- 4 体力づくりに取り組んでいるか
- 5 自分のことは大切だと思うか
- 6 友達のことを考えて行動しているか
- 7 「いじめ」や「なかまはずし」はいけなひことだと思うか
- 8 病気やけがをせず、学校生活を送っているか
- 9 決まりを守って学校生活を送っているか
- 10 行事や活動にしっかり取り組んでいるか
- 11 学校の様子を家で伝えているか
- 12 学校教育活動に積極的に参画しているか

<結果と考察（保護者編）> 令和3年度学校アンケート（保護者） 12月実施 266回答



○「1 学校は楽しいか」「5 自分のことは大切だと思うか」「7 いじめやなかまはずしはいけなひことだと思うか」「8 病気やけがをせず、学校生活を送っているか」「9 決まりを守って学校生活を送っているか」「11 学校の様子を家で伝えているか」の項目については、約95%のご家庭から肯定的な評価をいただきました。また「2 授業はわかるか」「6 友達のことを考えて行動しているか」「10 行事や活動にしっかり取り組んでいるか」「12 学校教育活動に積極的に参画しているか」の項目については、90%のご家庭から肯定的な評価をいただきました。自由記述には次のようなご意見をいただきました。

- ・学年に関係なく友達をたくさん作ることができました。
- ・たくさんの友達と楽しく会話ができたり、遊びに行けるようになったりしました。
- ・新しい環境になり不慣れな点もある中、楽しく元気に学校へ行ってくれることが嬉しいです。
- ・前日に明日の準備と促さなくても、鉛筆を削って教科書の準備をするようになりました。
- ・毎日の本読み、計算カードなどで、文章を上手に読むようになり、計算も早くなりました。
- ・運動会のダンスの練習を自主的に家でしていたのが成長を感じました。
- ・友達に自分の気持ちを伝えるとき、相手の気持ちを考えてから発言し、伝えるようになってきました。
- ・学校での出来事を、以前より具体的に話してくれるようになり、嬉しく思ひます。
- ・友達がからかわれているところを見て「やめろよ」と言ったそうで、涙が出るほどうれしかったです。
- ・近所にあいさつに行った際、教えてもいませんでしたがきちんとあいさつと自己紹介ができました。
- ・最上級生として、下の学年の子をいろいろな場面で気遣うところが、成長を感じ嬉しく思ひます。
- ・友達に大切にされることで、わが子は友達や人に対して思いやりの心を持つことができています。
- ・今年は勉強面で目標を自分からたてて取り組んでいるので驚きました。
- ・きょうだい学年などの取り組みがあるおかげで、集団登校などで、今まで自分が体験してきた上級生の子たちの行動をまねして、下級生の子たちへ心優しく接している姿に成長を感じます。（裏面へ）

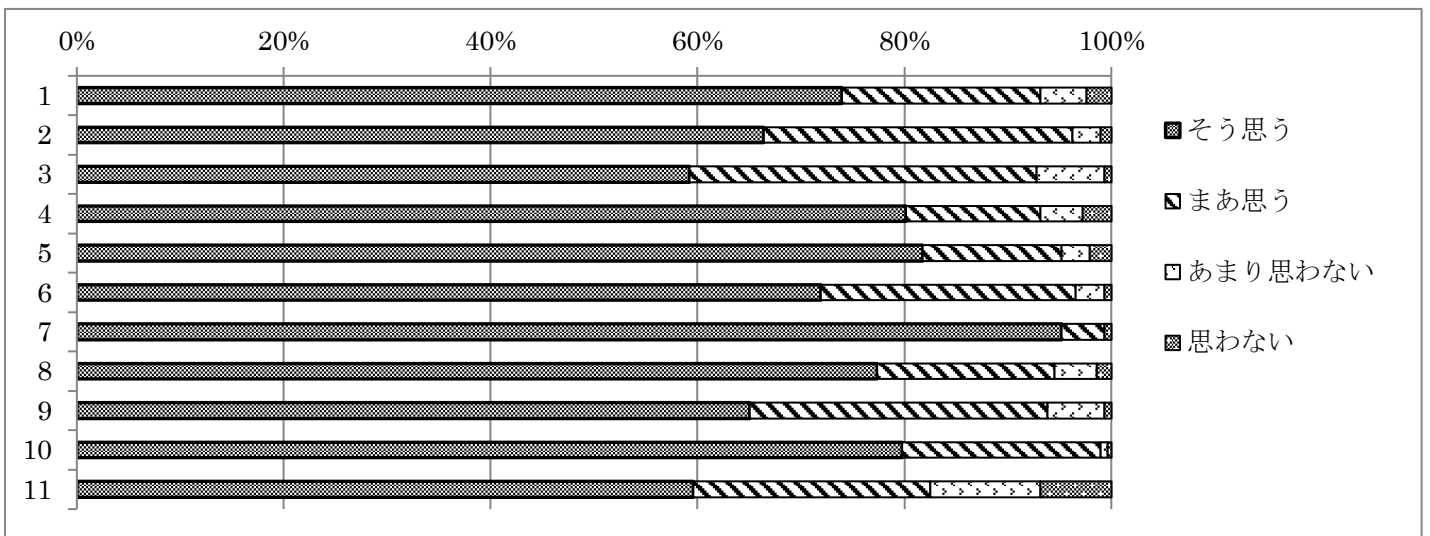
- 一方で、コロナ禍で規模を縮小したこともあり運動会については次のようなご意見をいただきました。
 - ・なぜ全学年が同じソーラン踊りだったのか、近隣他校は学年ごとにカラーを出して運動会を楽しんでいました。ただ運動会をやるのではなく、何のために行うのかを考えていただければと思いました。
 - ・子どもたちが頑張る機会をそがれ、何か不完全燃焼な感じに見えました。感染症対策の兼ね合いだとは思いますが、ただ規模を縮小するのではなく、できることを子どもたちと考えていくことが大切なのではないでしょうか。

学校行事等において、これまでのものと大きく変えていく場合には、その意図を丁寧に保護者や子どもたちに説明をし、理解を得ていく必要があると考えています。

- 「3 意見を言ったり、意見を聞いたりしているか」「4 体力づくりに取り組んでいるか」の項目については、肯定的な評価が90%を切っています。「3 意見を言ったり、意見を聞いたりしているか」については、今後授業の中で、教員が意識をして子どもたちがそういった言動を取れるように、改善に努めていきたいと考えます。「4 体力づくりに取り組んでいるか」については、コロナ禍が影響し、運動をする機会が減ったことが、他の項目と比べて評価が低くなっている原因であると捉えています。
- コロナ禍で、保護者が学校へと来られない状況が続いていることや行事等の変更により、保護者が学校に参画する機会が減っているため、保護者が参画できる方法については、今後もより良い方法を検討していきたいと考えています。

<結果と考察(児童編)> 令和3年度学校アンケート(児童) 12月実施 292回答

【項目】1~12の保護者用の設問から、12 学校教育活動に積極的に参画しているか を除いたもの



- 「2 授業はわかるか」「5 自分のことは大切だと思うか」「6 友達のことを考えて行動しているか」「7 いじめやなかまはずしはいけないことだと思うか」「8 病気やけがをせず、学校生活を送っているか」「10 行事や活動にしっかり取り組んでいるか」の項目については、約95%の子どもたちが肯定的な回答をしていました。また、「1 学校は楽しいか」「3 意見を言ったり、意見を聞いたりしているか」「4 運動することは好きか」「9 決まりを守って学校生活を送っているか」の項目については、90%の子どもたちが肯定的な回答をしていました。「11 学校の様子を家で伝えているか」の項目については、82%の子どもたちが肯定的な回答で、保護者の肯定的な回答(約95%)とは約13%の開きが出ています。

[成果]

- ・授業がわかると思っている子どもたちが多く、充実した学校生活を送っていることが伺えました。
- ・授業の流れや教材の与え方などについて研修を積み、オンライン授業やICTの活用も取り入れてきたことで、子どもたちの「わかる」につながり、基礎的学力の定着を図ることができたかと捉えています。
- ・「いじめやなかまはずしはいけないことだと思うか」という問いに対する回答が99%と高く、子どもたちの人(相手)を大切にしようとする意識の高まりを感じます。

[課題]

- ・子どもたちの意識が持続しない部分もあるため、持ち物や学校での過ごし方などについて、学期初めや月初めなど計画的に学校全体で統一した指導を行っていきます。
- ・「7 いじめやなかまはずしはいけないことだと思うか」という問いかけに、「そう思わない」と回答している子が若干います。自分で自分の課題や弱さを見つめられる子も出てきていますので、実生活に生かせるように、さらに道徳の授業を充実させていきたいと考えています。

(文責 北住 昌文)

